



5400 プリンター 拡張コマンド 解説書
(テキスト・コマンド)

Version 1.2
2005 年 12 月

1	概要	3
2	コマンド一覧	3
3	コマンド詳細	4
3.1	バーコード印刷 (“!#%” or “!@&” “B” N1 N2 N3 データ)	4
3.2	バーコード印刷形式設定 (“!#%” or “!@&” “C” N1 N2 N3 N4 N5)	5
3.3	疑似 OCR-B 設定 (“!#%” or “!@&” “M” N1)	6
3.4	拡大文字設定 (“!#%” or “!@&” “S” N1 N2 N3 N4)	7
3.5	カスタマ・バーコード印刷 (“!#%” or “!@&” “V” N1 N2 N3 データ)	8

1 概要

テキストコマンドは、半角英数文字のテキストを使い、プリンタードライバーにて指定されるバーコード等々のエミュレーション・コマンドと同等の印刷を提供します。

テキストコマンドの開始は、半角英数文字の“!#%”または“!@&”で指定し、これに続く半角英数文字にてバーコードまたは OCR 等の印刷を行います。

テキストコマンドは 5400 プリンター モデル L02、L06、L10 に 2123 フィーチャーを選択された場合に使用可能です。

また 開始文字 “!#%” または “!#&” を 印字データに含まれる場合は当コマンドとして認識され 印刷結果が異なることがありますのでご注意ください。

2 コマンド一覧

開始文字	制御指定文字	機能
"!#%" または "!@&"	“B”	バーコード印刷
	“C”	バーコード印刷形式設定
	“M”	疑似 OCR-B 設定
	“S”	拡大文字設定
	“V”	カスタマ・バーコード印刷

3 コマンド詳細

3.1 バーコード印刷 (“!#%” or “!@&” “B” N1 N2 N3 データ)

バーコード印刷コマンドは、開始文字に続く”B”及び3文字の機能指定文字、バーコード・データを表す文字列の構成です。以下、N1～N3文字の機能です。尚、バーコードに関する仕様は、各プリンターに付属している「設置と操作の手引き」で確認できます。

N1 : バーコード・タイプ

指定可能範囲：半角英数字 “0”～”7”

“0” : JAN 標準

“1” : JAN 短縮

“2” : Interleaved 2 of 5 (ITF)

“3” : Industrial 2 of 5

“4” : 予約済み

“5” : NW-7 (CODABAR)

“6” : CODE39

“7” : CODE128 注)5400-L10 では印刷出来ない。

N2 N3 : データ長

指定可能範囲：半角英数字 “0”～”F”

データ長計算方法：データ長 = $N2 \times 16 + N3$

データ長は16進数で表現され、文字”A”～”F”は10進数の10～15、文字”0”～”9”は、10進数の0～9に対応します。

注) JAN 標準・短縮を選択した場合、本 **N2N3** は指定できません。N1の次は、データとなります。

データ : バーコード・データ

指定可能範囲：半角英数字

注) バーコード・タイプにより指定できる最大/最小及び有効文字が異なります。ご使用になる印刷装置に付属している「設置と操作の手引き」で確認できます。

注) N1にてJAN標準又はJAN短縮を指定し、バーコード印刷形式コマンド (Page5参照)にて「チェック・ディジット生成・印刷を指定する。」とした場合、データ中にチェック文字の付加が必要です。

3.2 バーコード印刷形式設定 (“!#%” or “!@&” “C” N1 N2 N3 N4 N5)

バーコード印刷形式コマンドは、開始文字に続く”C”及び5文字の機能指定文字の構成です。以下、N1～N5文字の機能です。尚、バーコードに関する仕様は、ご使用になる印刷装置に付属している「設置と操作の手引き」にて確認できます。

N1 : バー幅指定

指定可能範囲：半角数字 ”1”～”4”

バー幅は、各バーコードにより異なります。実際に印刷し確認する事が必要です。

N2 : バーコード高さ

指定可能範囲：半角英数字 “1”～”F”

各指定文字に対する高さ

“1”	: 24/180	インチ	(通常文字の高さ) 注 1
“2”	: 48/180	インチ	注 1) 改行幅ではない。
“3”	: 72/180	インチ	
“4”	: 96/180	インチ	
“5”	: 120/180	インチ	
“6”	: 144/180	インチ	
“7”	: 168/180	インチ	
“8”	: 192/180	インチ	
“9”	: 216/180	インチ	
“A”	: 240/180	インチ	
“B”	: 264/180	インチ	
“C”	: 288/180	インチ	
“D”	: 312/180	インチ	
“E”	: 336/180	インチ	
“F”	: 360/180	インチ	

N3 : チェック・ディジット指定

指定可能範囲：半角英数字 “0”～”1”

“0” : チェック・ディジット生成・印刷を指定しない。

“1” : チェック・ディジット生成・印刷を指定する。

N4 : 予約済み

半角英数文字 “0”を指定。

N5 : HRI 印字

指定可能範囲：半角英数字 “0”～”1”

“0” : HRI 印刷を指定しない。

“1” : HRI 印刷を指定する。

3.3 疑似 OCR-B 設定 (“!#%” or “!@&” “M” N1)

疑似 OCR-B 設定コマンドは、開始文字に続く”M”及び 1 文字の機能指定文字の構成です。以下、N1 文字の機能です。

N1 : 疑似 OCR-B 指定

指定可能範囲：半角数字 ”0”～”1”

“0” : 疑似 OCR-B を指定しない。

“1” : 疑似 OCR-B を指定する。

注) 指定により疑似 OCR-B を印刷できますが、OCR
リーダーの正読率を保証するものではありません。

3.4 拡大文字設定 (“!#%” or “!@&” “S” N1 N2 N3 N4)

拡大文字設定コマンドは、開始文字に続く”S”及び4文字の機能指定文字の構成です。以下、N1～N4文字の機能です。

N1 : 指定機能範囲設定及び機能文字長さ指定

指定された文字が以降の文字長さ (N1 を含む) を指定します。

指定可能範囲 : 半角数字 ”1”～”4”

“1” : 拡大文字設定解除。

“2” : 横方向拡大係数設定。

“3” : 縦・横方向拡大係数設定。

“4” : 予約済み。

注) 上記”4”を指定した場合、N1～N3 までが有効となり、N4 は読み捨てられます。

N2 : 横方向拡大係数

指定可能範囲 : 半角数字 ”1”～”F”

“1” : 1 倍

“2” : 2 倍

“3” : 3 倍

“4” : 4 倍

“5” : 5 倍

“6” : 6 倍

“7” : 7 倍

“8” : 8 倍

“9” : 9 倍

“A” : 10 倍

“B” : 11 倍

“C” : 12 倍

“D” : 13 倍

“E” : 14 倍

“F” : 15 倍

注) 拡大係数の組み合わせ及び指定可能範囲は、ご使用になる印刷装置に付属している「設置と操作の手引き」にて確認できます。

N3 : 縦方向拡大係数

指定可能範囲 : 半角数字 ”1”～”F”

詳細は、N2 を参照。

N4 : 予約済み

半角英数文字 “0”を指定。

3.5 カスタマ・バーコード印刷 (“!#%” or “!@&” “V” N1 N2 N3 データ)

カスタマ・バーコード印刷コマンドは、開始文字に続く”V”及び3文字の機能指定文字ならびにバーコード・データを表す文字列の構成です。以下、N1～N3文字の機能です。

N1 : ポイント指定

指定可能範囲：半角数字 ”2”を指定。

N2 : HRI 印刷

指定可能範囲：半角数字 ”0”を指定。

N3 : 予約済み

半角数字 ”1”を指定。

データ : バーコード・データ

指定可能範囲：半角英数文字。

注) 指定可能文字に関する詳細は、ご使用になる印刷装置に付属している「設置と操作の手引き」にて確認できます。

以上